

# <経営概況説明>



Mitsui Chemicals

## 「化学」「革新」「夢」の三井化学

～絶えず革新を追求し、

化学のちからで夢をかたちに～

2008年5月12日

三井化学株式会社 社長 藤吉 建二

# 三井化学ファブロによる再生樹脂問題に関しまして

- ・ 08年1月 子会社の三井化学ファブロ(株)が同社製品「エコハット」において、お客様が最終製品で取得しているエコマーク認定及びグリーン購入法の基準を満たすことができない再生樹脂使用比率で生産・販売していたことが判明
- ・ 同社は、当該製品の生産・販売を直ちに停止するとともに、事実関係を公表いたしました
- ・ お客様、消費者の皆様をはじめ関係の方々に多大なご迷惑をおかけしましたこと、また、環境保護制度に対する信頼を損ねたことについて、親会社として深くお詫び申し上げます

**当社グループは、これらの事態を厳粛かつ真摯に受け止め、グループ全体で再発防止策の徹底を図ることにより、信頼回復に努めてまいります。**

# 目 次

**1. 08中計(概略)**

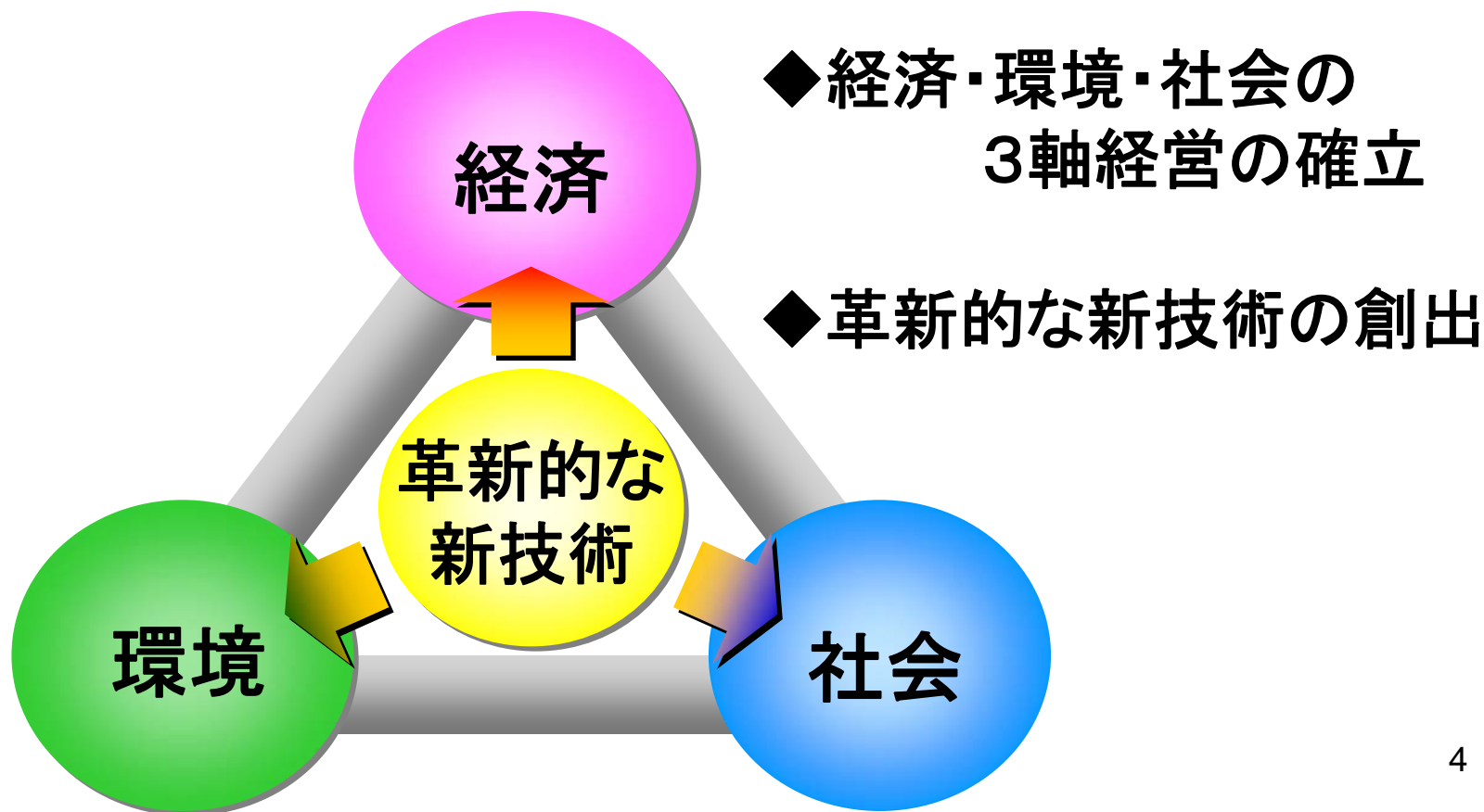
**2. 07年度決算**

**3. 事業環境・08予想**

## 1. 08中計(概略)

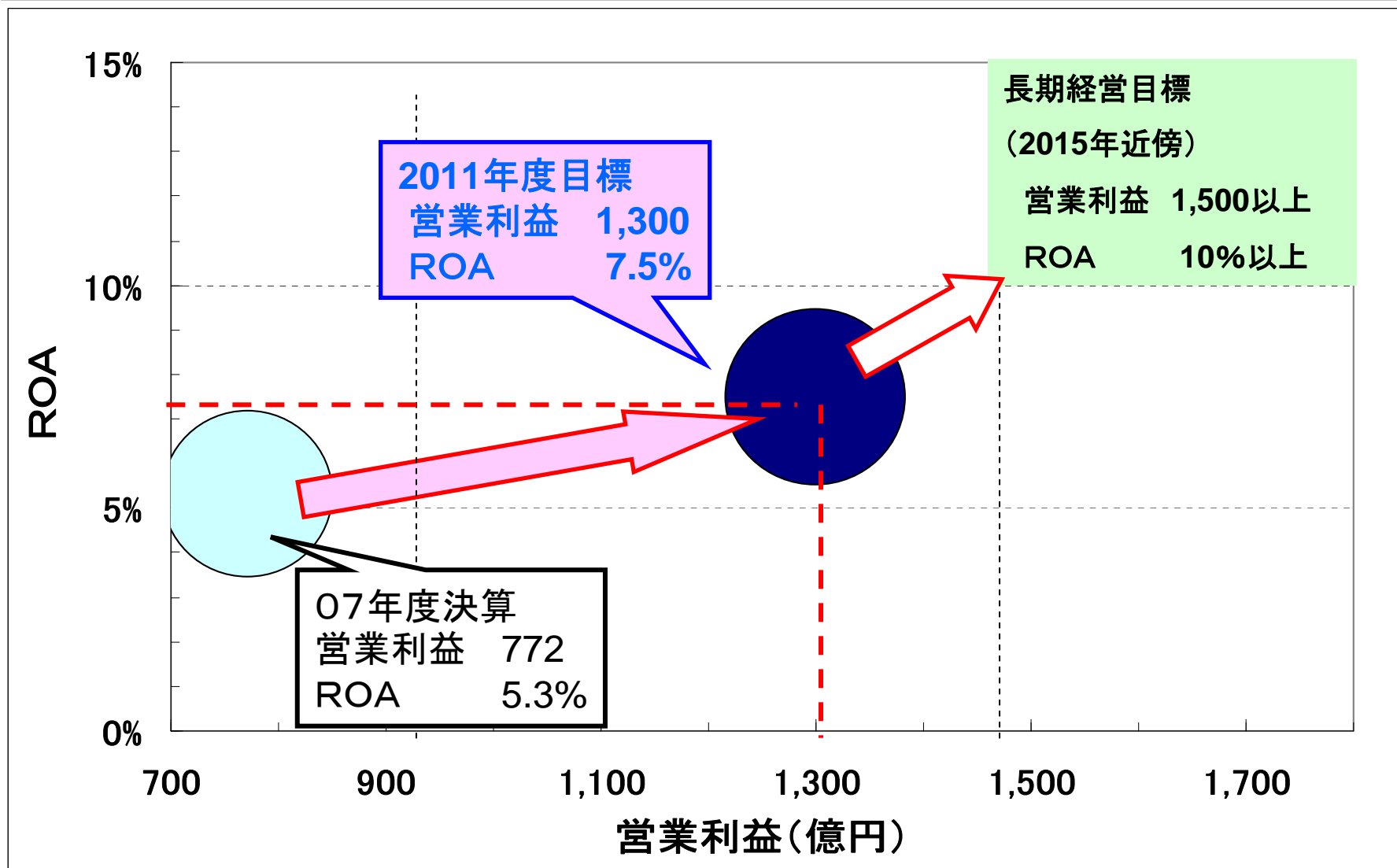
# 08中計 基本コンセプト

## 「新たな価値創造への挑戦」



# 1. 08中計(概略)

## 08中計 經濟軸



# 1. 08中計(概略)

## 08中計 環境軸

### 1. GHG削減

＜経営目標(2011年度)＞

GHG原単位指数 **85以下**  
(エネルギー原単位指数 **80以下**)

### 2. 産業廃棄物埋立て量ミニマム化

＜経営目標(2011年度)＞

- (1) 国内全生産拠点 **埋立て率 1%以下 (= ミニマム化)**
- (2) 海外生産拠点における **平均埋立て率 5%以下**

### 3. 非化石原料活用技術

＜基本戦略＞

- (1) **原料転換**技術の開発
- (2) **非可食**資源の活用

## 1. 08中計(概略)

# 08中計 社会軸

### ◆世界最高の労働安全水準の実現(2011年)

- ・労災度数率(休業) 0.15以下
- ・同(休業+不休業+微傷) 1.8以下

### ◆コンプライアンス違反事例の撲滅

(1)グループ全社員の意識改革の促進

(2)すべての生産拠点における抜本的な  
労働安全体制の整備

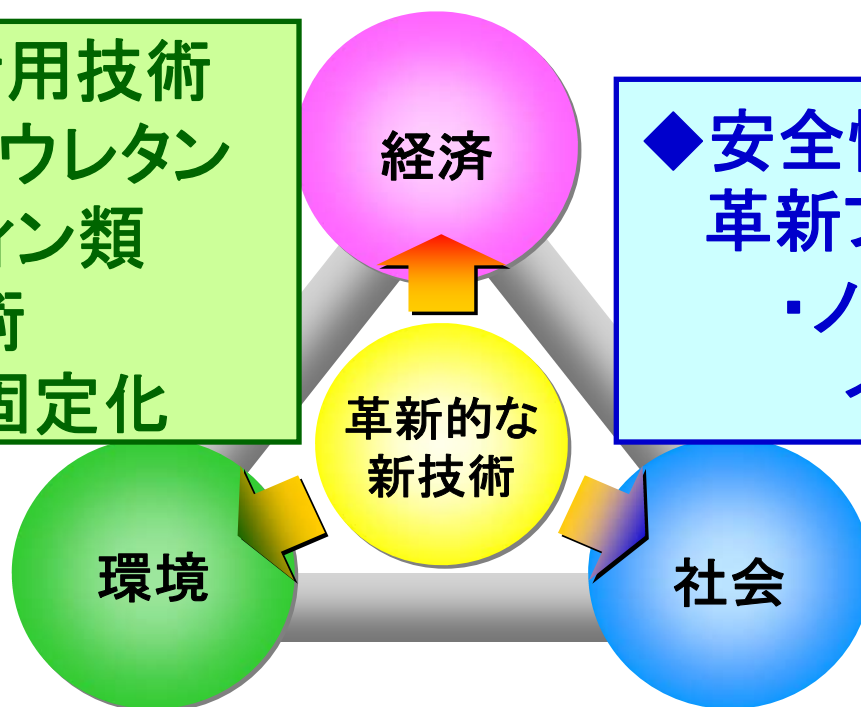
# 1. 08中計(概略)

## 08中計 革新的な新技術

- ◆機能性ポリマーズの拡充
- ◆オレフィン類やアロマ類の革新プロセス開発

- ◆非化石原料活用技術
  - ・植物由来ポリウレタン
  - ・バイオオレフィン類
- ◆GHG削減技術
  - ・CO<sub>2</sub>化学的固定化

- ◆安全性の高い革新プロセス開発
  - ・ノンホスゲン法
  - ・イソシアネート



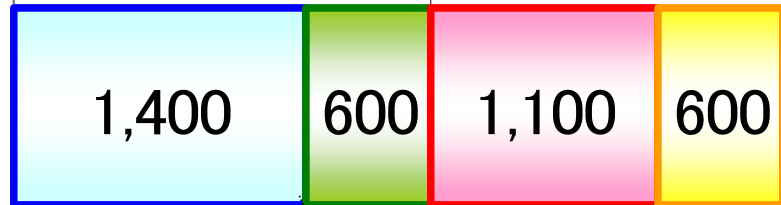


# 1. 08中計(概略)

## 経営資源投入計画 投融資

(億円)

04  
中計



**3,700**

**1.8倍の投融資  
を計画**

08  
中計



**6,800**

機能材料

先端  
化学品

基礎  
化学品

間接部門他

0

2,000

4,000

6,000

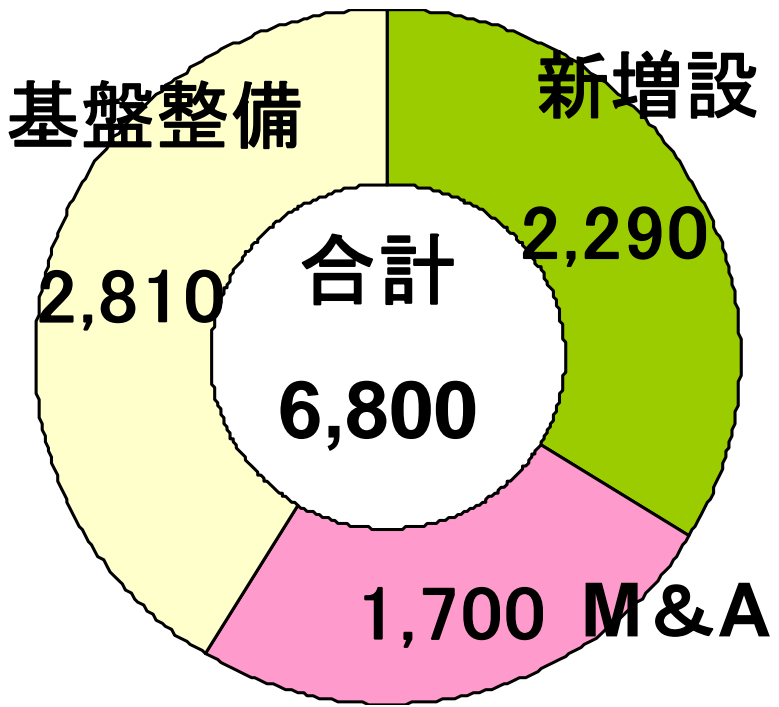
8,000

# 1. 08中計(概略)

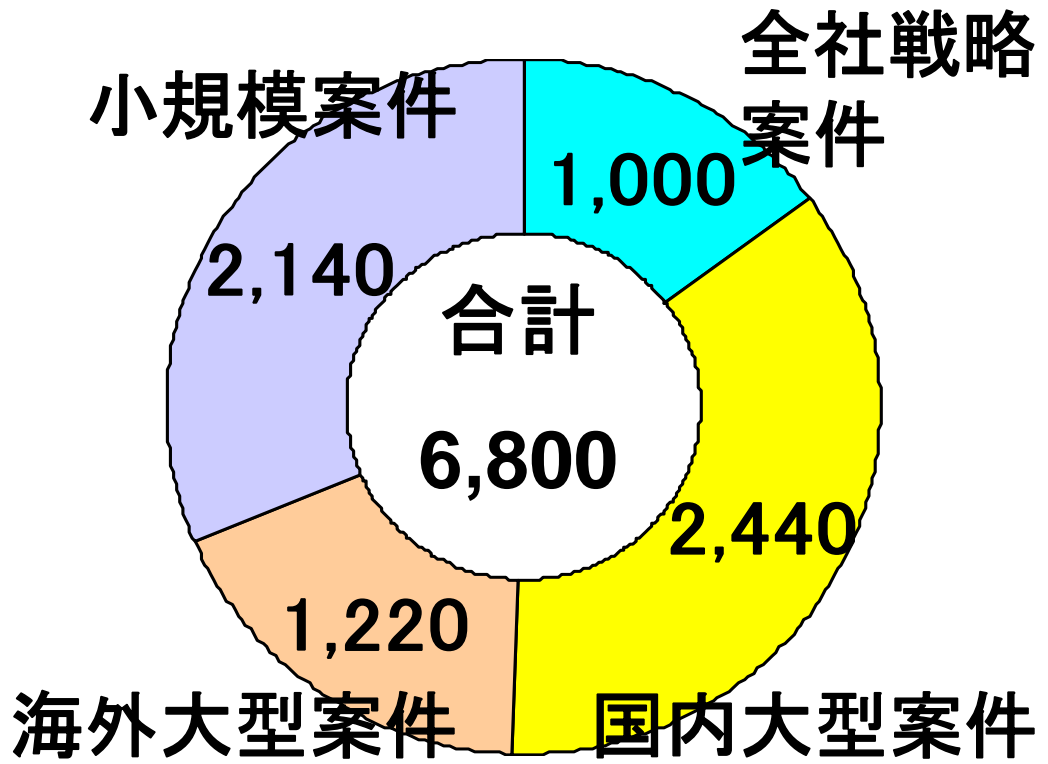
## 経営資源投入計画 投融資内訳

(億円)

### 目的別



### 案件規模別



# 目 次

1. 08中計(概略)

2. 07年度決算

3. 事業環境・08予想

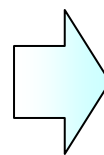
## 2. 07年度決算

# 04中計期間(04~07)の営業利益推移

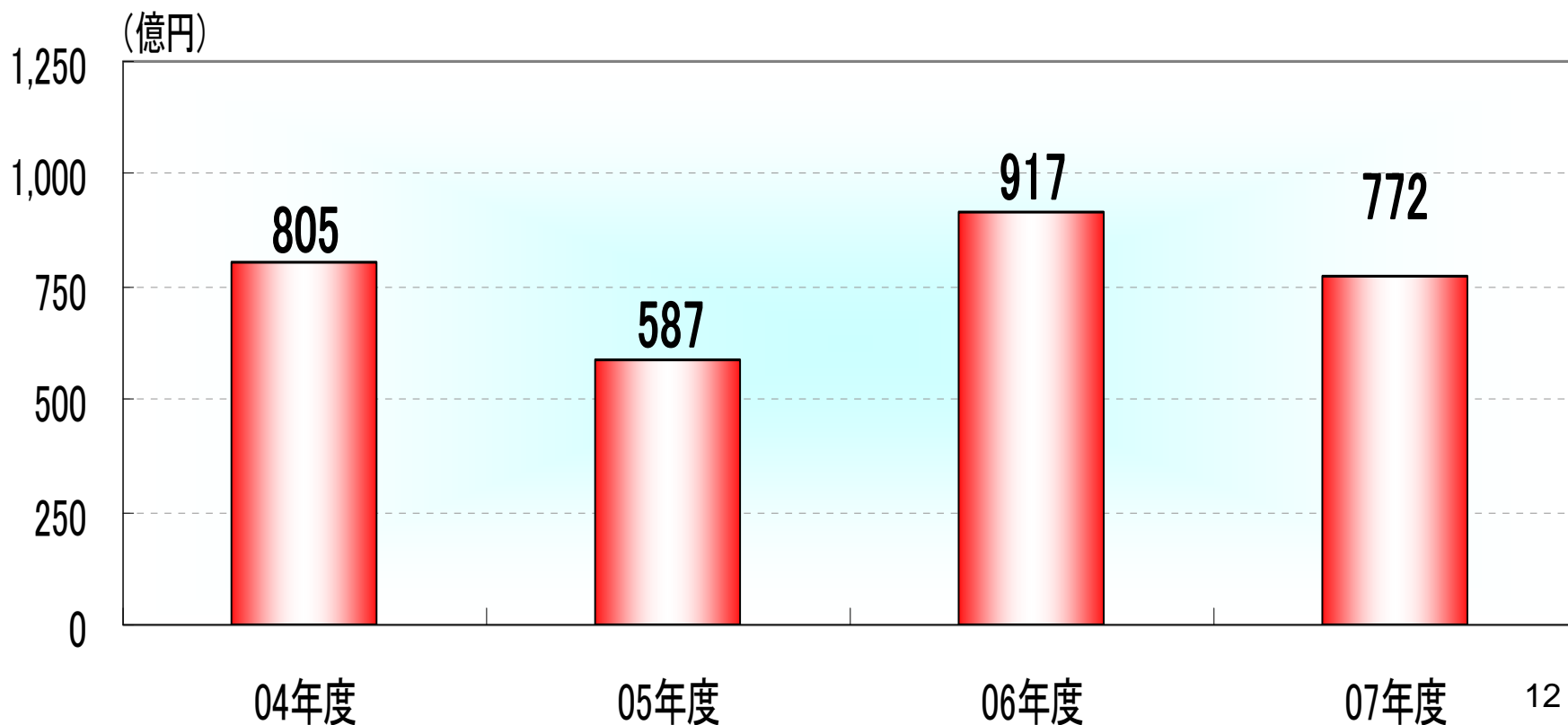
(4カ年累計営業利益)

04中計(計画) 3,200億円

実績 3,081億円



4年間の営業利益  
累計は、若干未達



## 2. 07年度決算

# 事業本部別営業利益の増減内訳

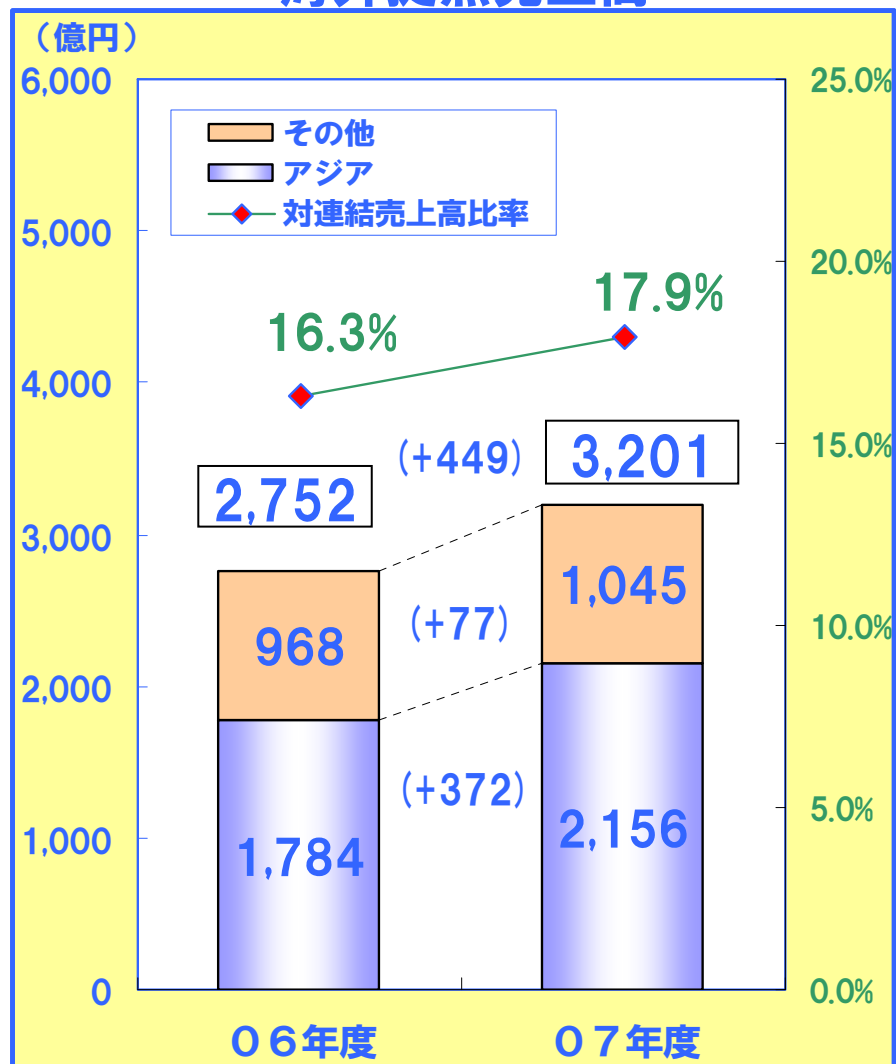
(単位:億円)

セグメント	06年度 決算	07年度 決算	増減	増減内訳			
				数量差	交易条件	固定費他	内訳
機能材料	259	359	100	11	134	△45	TDI
先端化学品	117	108	△9	46	△43	△12	-
基礎化学品	531	334	△197	△21	△146	△30	PO,PTA
その他	10	△29	△39	△1	0	△38	研究費等
合計	917	772	△145	35	△55	△125	

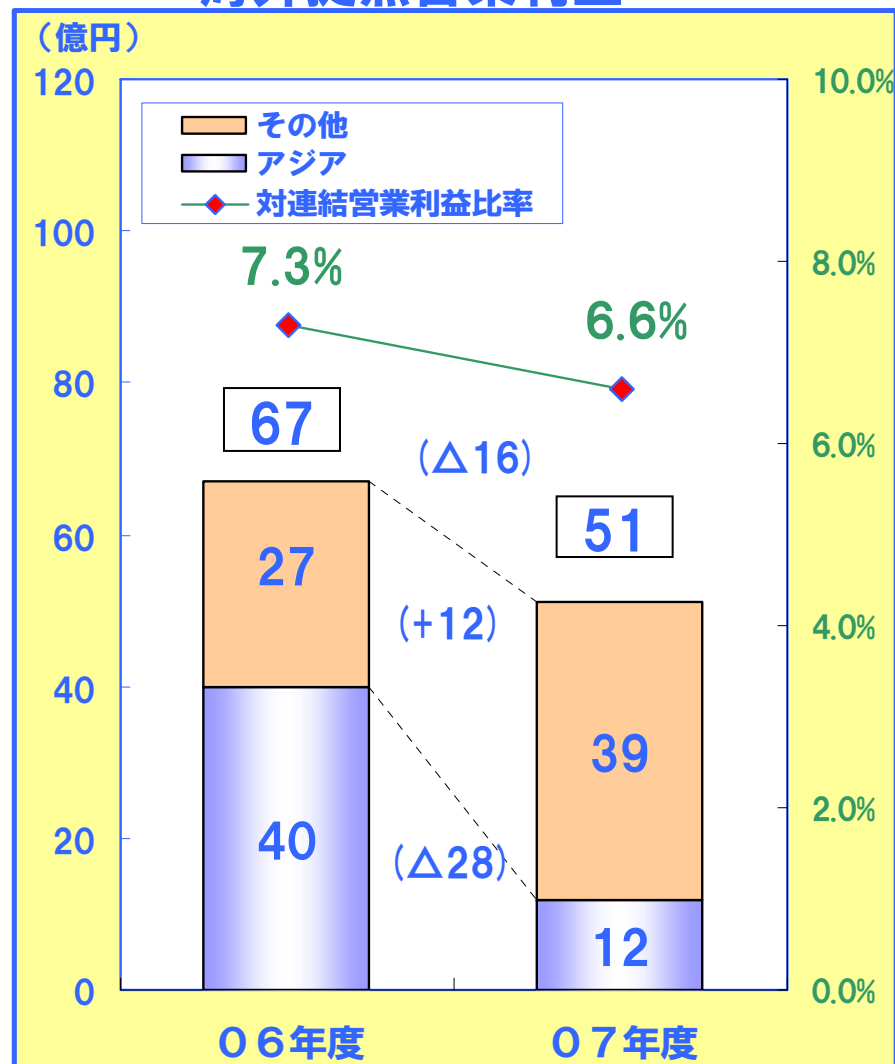
## 2. 07年度決算

# 海外拠点売上高、営業利益

### 海外拠点売上高



### 海外拠点営業利益



## 2. 07年度決算

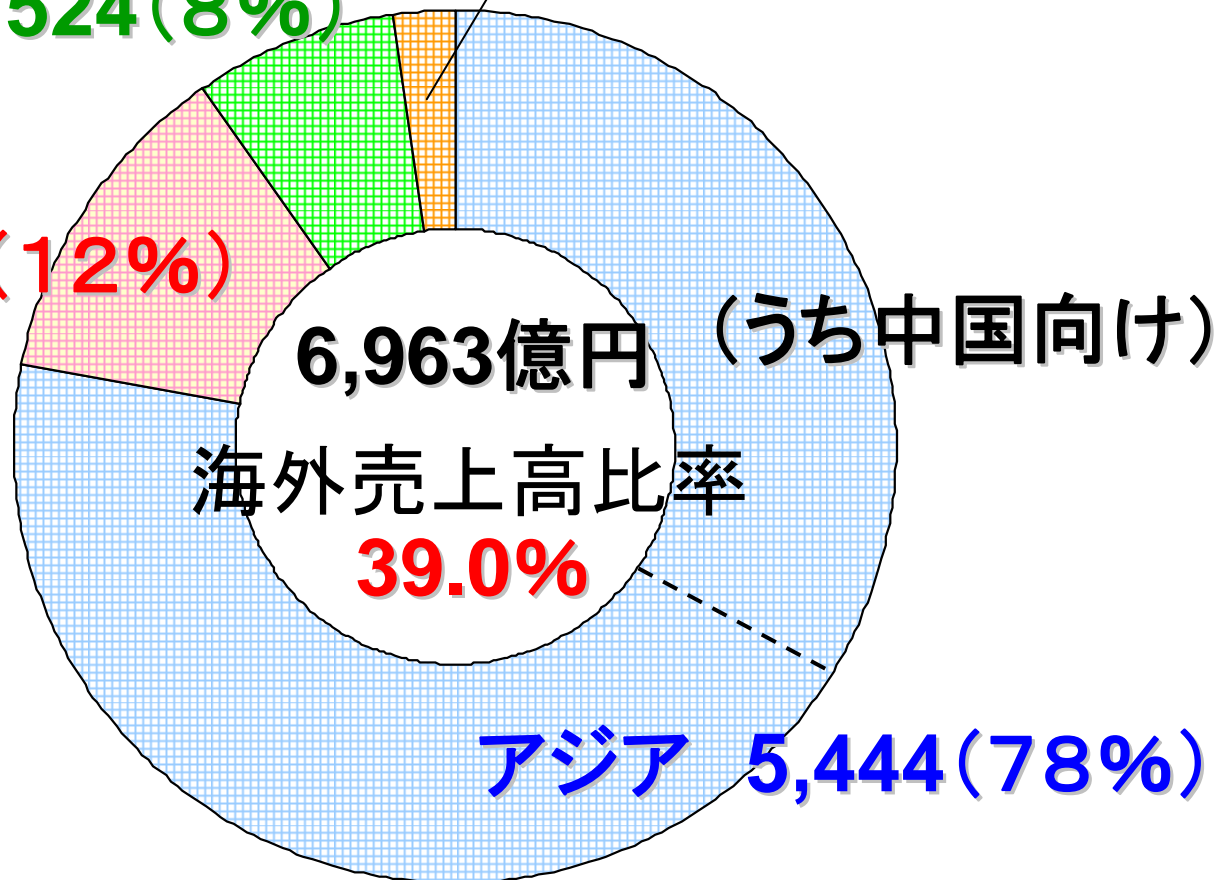
# 地域別海外売上高(07年度)

(単位:億円)

その他 155(2%)

ヨーロッパ 524(8%)

アメリカ 840(12%)



(海外売上高=海外拠点売上高+輸出売上高)

# 目 次

1. 08中計(概略)

2. 07年度決算

3. 事業環境・08予想



### 3. 事業環境・08予想

## 08年度 事業環境

		08中計	08年度
成長率	米国	3.0%	1.6~2.0%
	欧州	2.0%	2.0~2.4%
	アジア	5.8%	7.2%
	中国	9.4%	10.0%
諸元	原油	65\$/bbl	120\$/bbl
	ナフサ	50,000円/kl	72,000円/kl
	為替	115円/\$	100円/\$

サブプライム問題による  
米国経済減速懸念

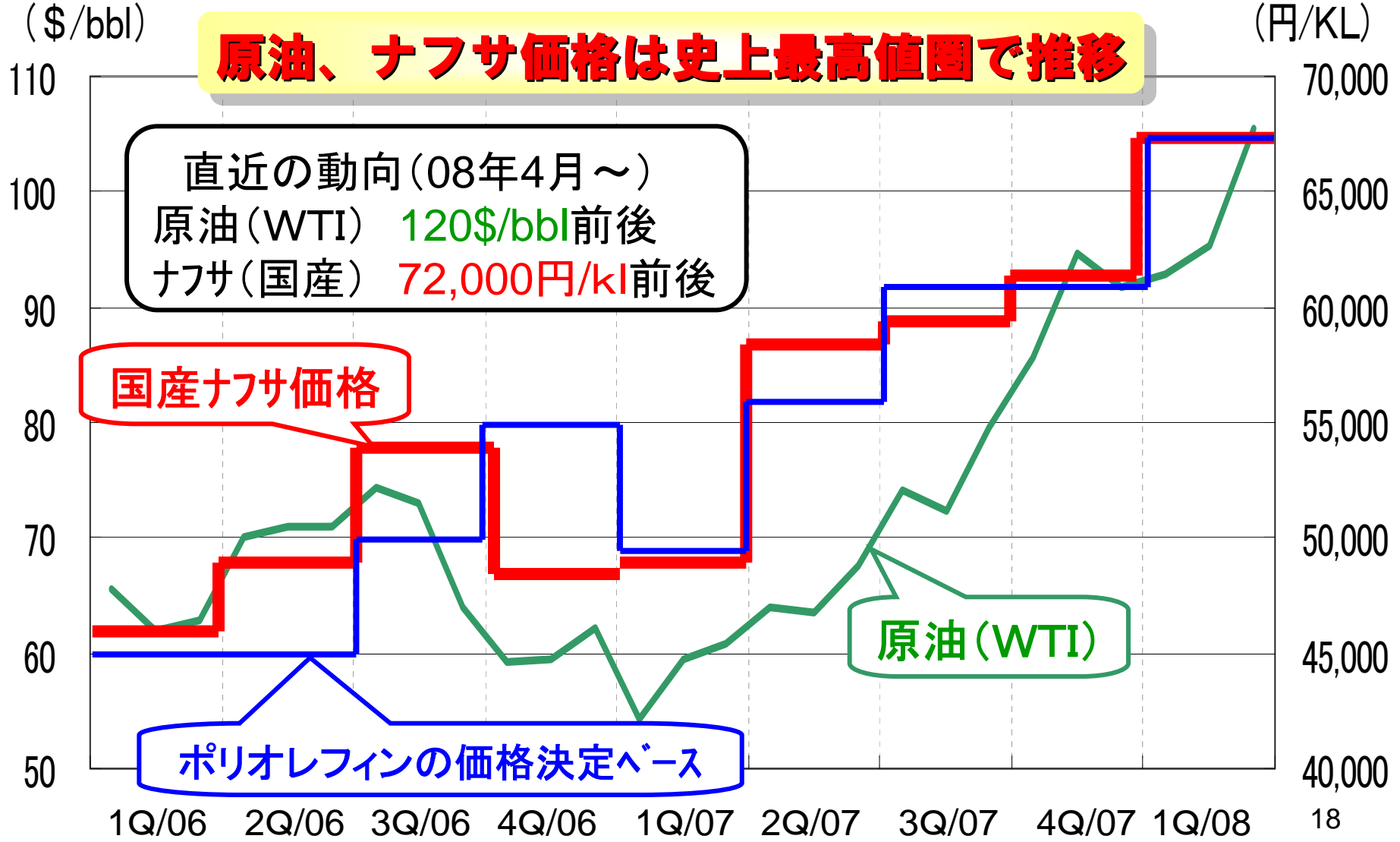
原油、ナフサは史上  
最高値圏高止まり

円高

08中計想定よりも厳しい事業環境が見込まれる

### 3. 事業環境・08予想

## 原油、ナフサ価格推移



### 3. 事業環境・08予想

## 中計戦略/原料高騰の中期的対応

原油価格 65\$→130\$/bbl に高騰した場合  
→ 約200億円の限界利益減を想定

#### <原料価格変動への対応>

- ・ 製品価格のフォーミュラー化
- ・ 石化原料ソースの多様化

#### <需要減少への対応>

- ・ 差別化製品へのシフト

具体例(能力増強):アーレン、EPT、タフマー、アペル、  
イクロステープ 等

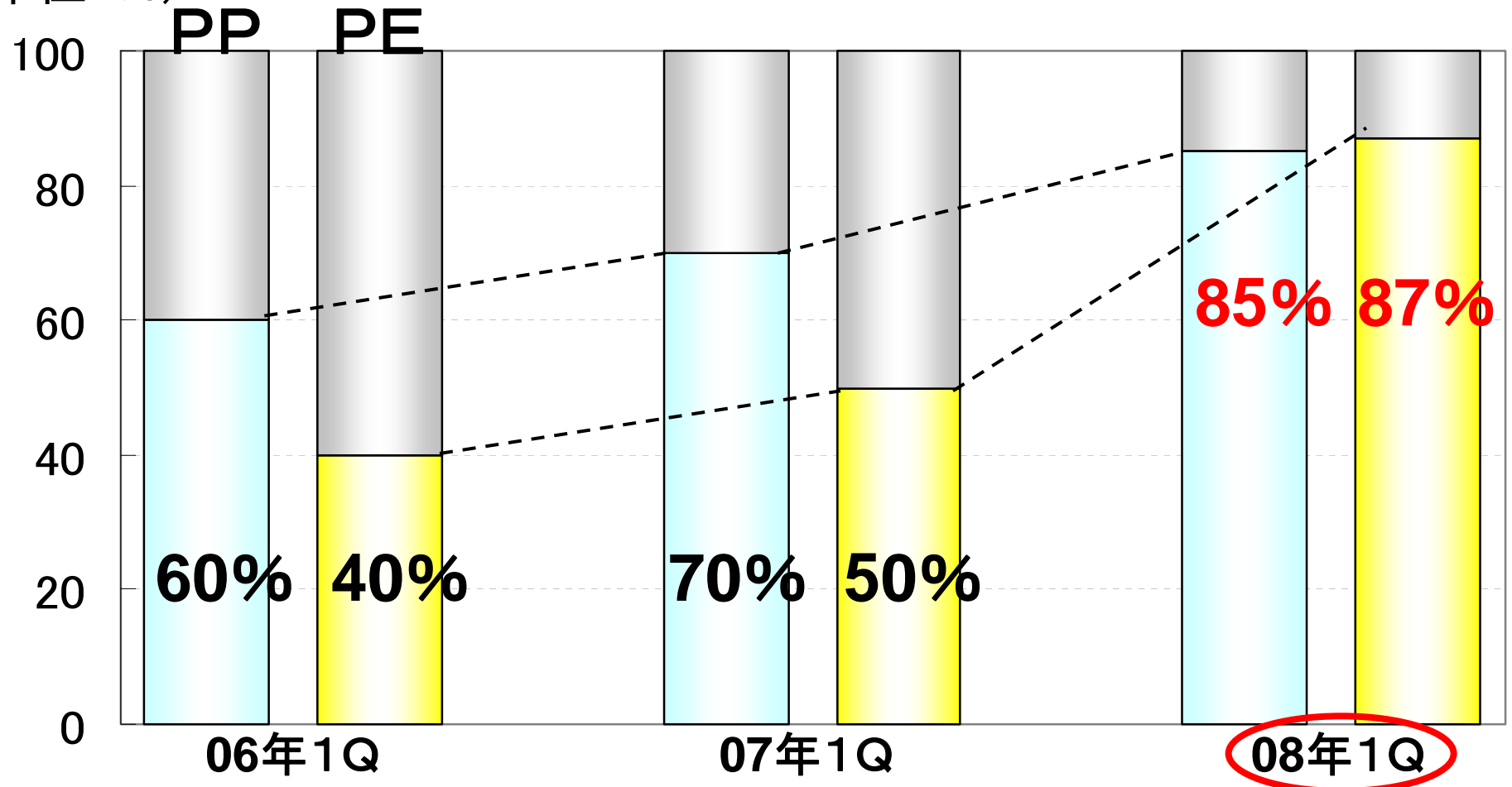
#### <脱石油への取組み>

- ・ 非化石原料事業活用事業の育成

### 3. 事業環境・08予想

## ポリオレフィンのナフサフォーミュラー率

(単位: %)

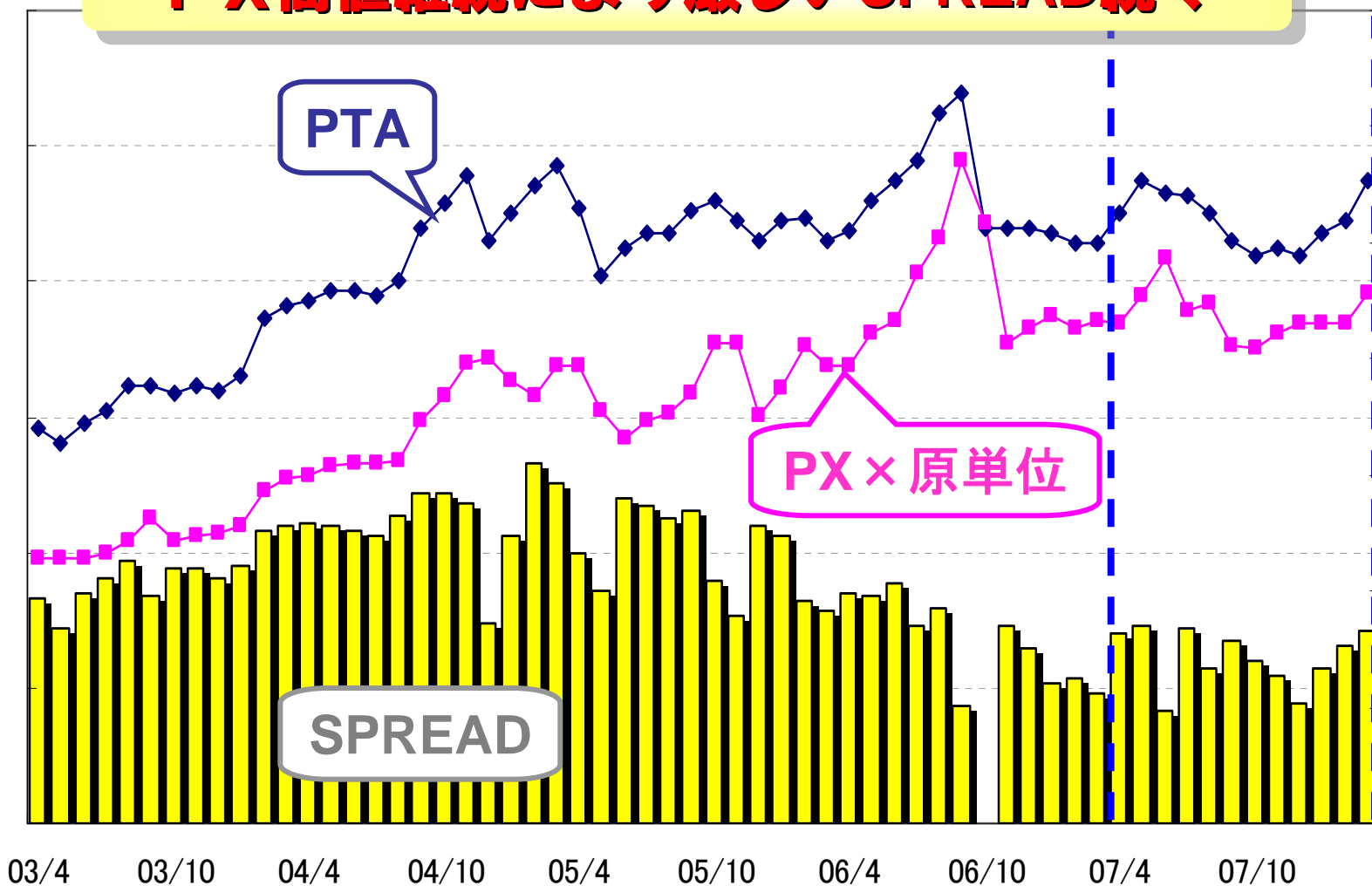


**PP、PEともにナフサフォーミュラー率90%弱まで上昇**

### 3. 事業環境・08予想

## PTA、PX市況推移(アジア)

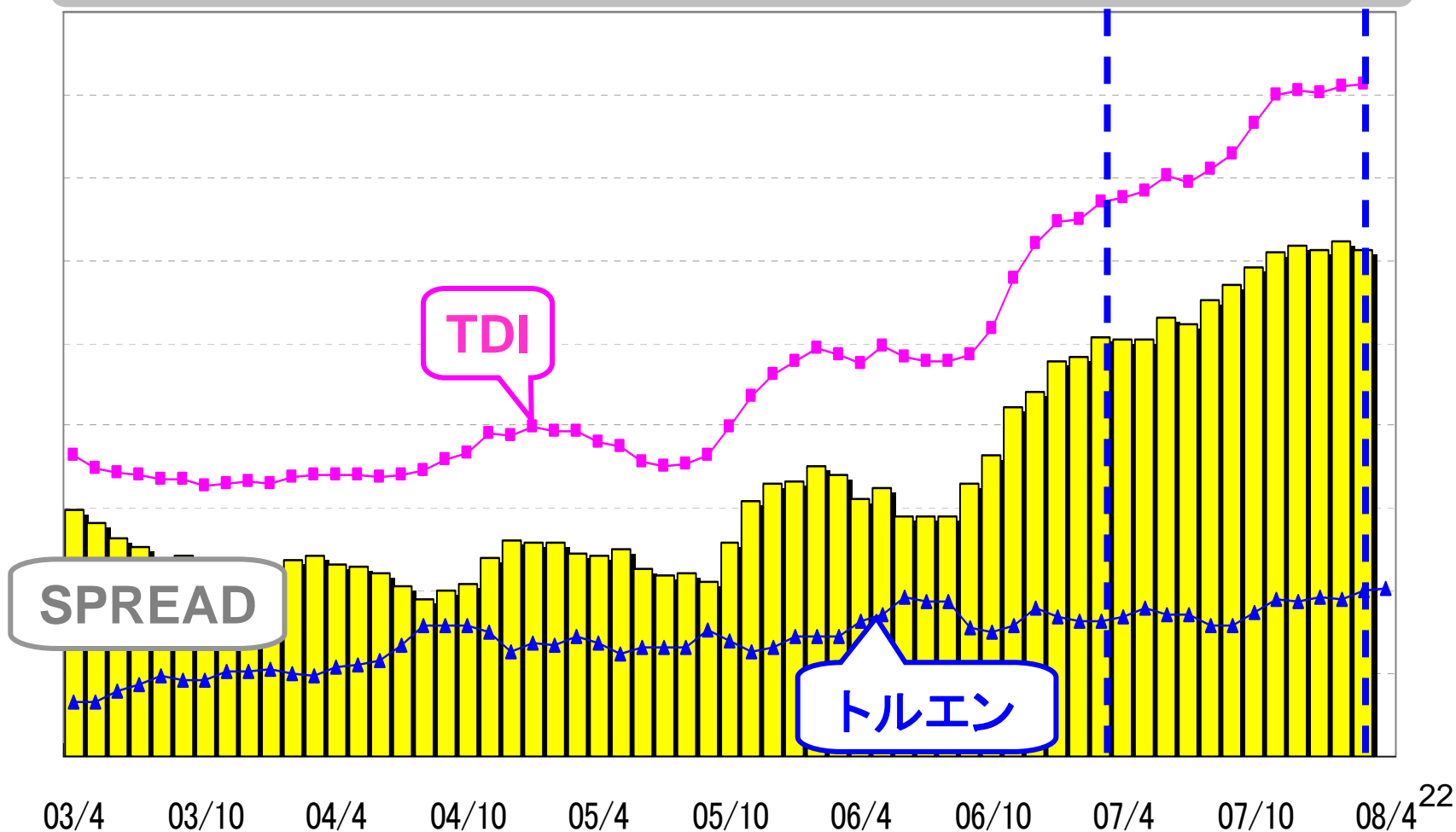
**PX高値継続により厳しいSPREAD続く**



### 3. 事業環境・08予想

## TDI、トルエン市況推移(アジア)

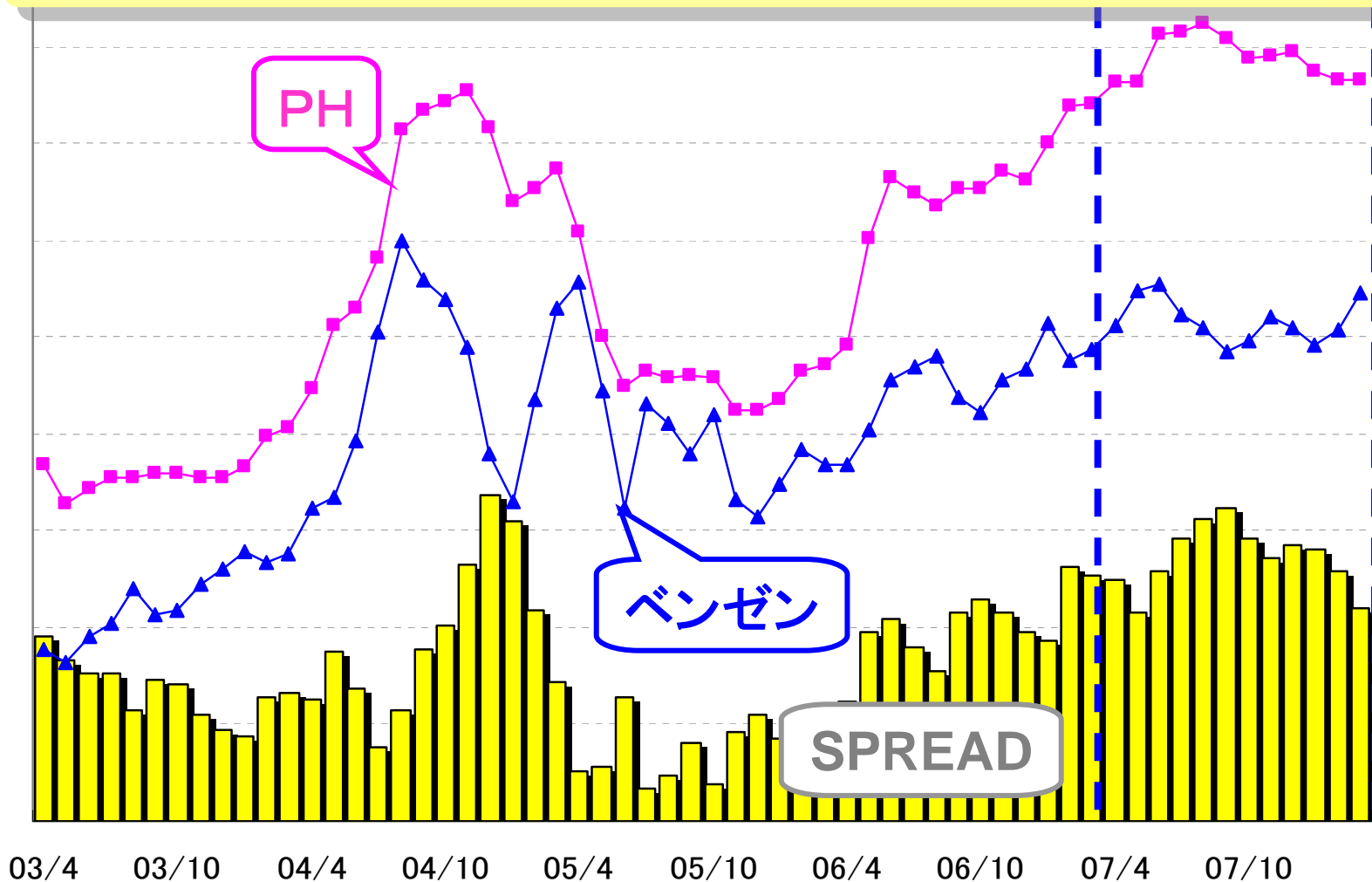
供給トラブル等により高値継続→良好なSPREAD維持



### 3. 事業環境・08予想

## フェノール市況推移(アジア)

需要堅調により高価格維持→良好なSPREAD維持



### 3. 事業環境・08予想

## 08年度 営業利益

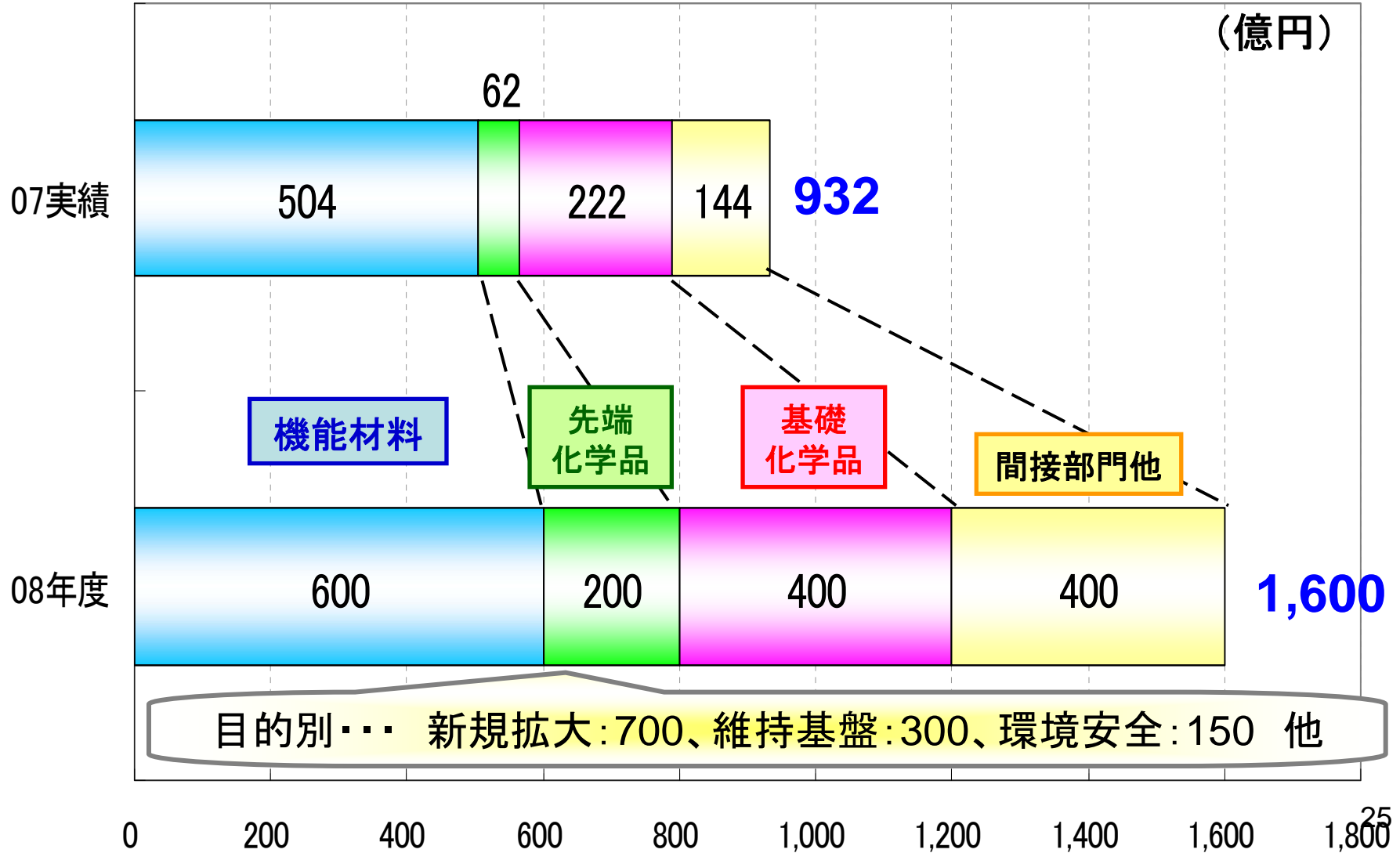
(単位:億円)

セグメント	07年度 決算	08年度 予想	増減	増減内訳			
				数量差	交易条件	固定費他	内訳
機能材料	359	250	△109	118	△88	△139	償却費等
先端化学品	108	120	12	30	△2	△16	-
基礎化学品	334	310	△24	21	△11	△34	-
その他	△29	△20	9	0	0	9	-
合計	772	660	△112	169	△101	△180	



### 3. 事業環境・08予想

## 08年度 投融資計画



## 強いものをより強く(先端化学品)

### M&Aを中心とした事業規模拡大

#### 米国/SDC社の買収決定

- 買収対象 米国/SDC Technologies Inc.
- 契約締結 08年5月株式売買契約締結
- SDC社の事業内容と当社にとっての位置づけ  
プラスチック・非鉄金属のコーティング材料及びそのシステムの製造/販売を事業としており、**主な用途はメガレンズ向け**  
→ **新たにメガレンズ用コーティング材料事業に参入することによりビジョンケア事業の更なる拡大を図る**

### 3. 事業環境・08予想

## 強いものをより強く(機能材料)

### 機能性ポリマーズの拡充

ア-レン	能力増強	完工	07年7月	1.2→4.5KT
EPT	能力増強	営業運転開始	08年4月	45→120KT
アペル	能力増強	営業運転開始	08年5月	3.4→6.4KT
タフマー	能力増強	着工	08年7月	150→250KT
ルーカント	能力増強	営業運転開始	08年2月	5→11KT



3EPT(市原工場)



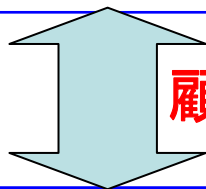
第2アペル(大阪工場)

### 3. 事業環境・08予想

## 強いものをより強く(機能材料)

“ポリマー・プラス・ワン”の追求→高機能フィルム充実

不織布	能力増強(14→30KT) 営業運転開始	07年12月
通気性フィルム	生産拠点をMHM/タイに集約化	08年2月
イクロステーブ°	能力増強 完工	08年8月
PDP	光学フィルター事業から撤退	08年3月



顧客のニーズにクイックレスポンス



MHM(タイ)

岩国/多目的セコマー  
シャルプラント(07.1~)



名古屋/高機能フィルム  
センター(07.10~)



### 3. 事業環境・08予想

## インド現地法人の設立について

- ・ 設立の趣旨

インド市場の高い成長(7~9%)に伴い、エラストマーを中心とした当社製品の大幅な販売伸長が見込めるため、このたび、現地法人を設立

- ・ 社名 **Mitsui Chemicals India PVT LTD**

- ・ 設立 08年4月

- ・ 資本金 1.34億ルピー(約4億円)

インド市場における当社グループの売上高は、2011年度で150億円に達する見込み(ACI社含む)

### 3. 事業環境・08予想

## 強いものをより強く(基礎化学品)

差別化技術による高付加価値化、アジア成長市場獲得

BPA	中国/新プラント 完工	08年7月	120KT
PP自動車材	世界各地で能力増強	09年末	617→715KT
アロマ	ベトナム/ニソンコンプレックス建設 に向けた合弁のFS参加	08年4月	—



ベトナムでの調印式(4月7日)

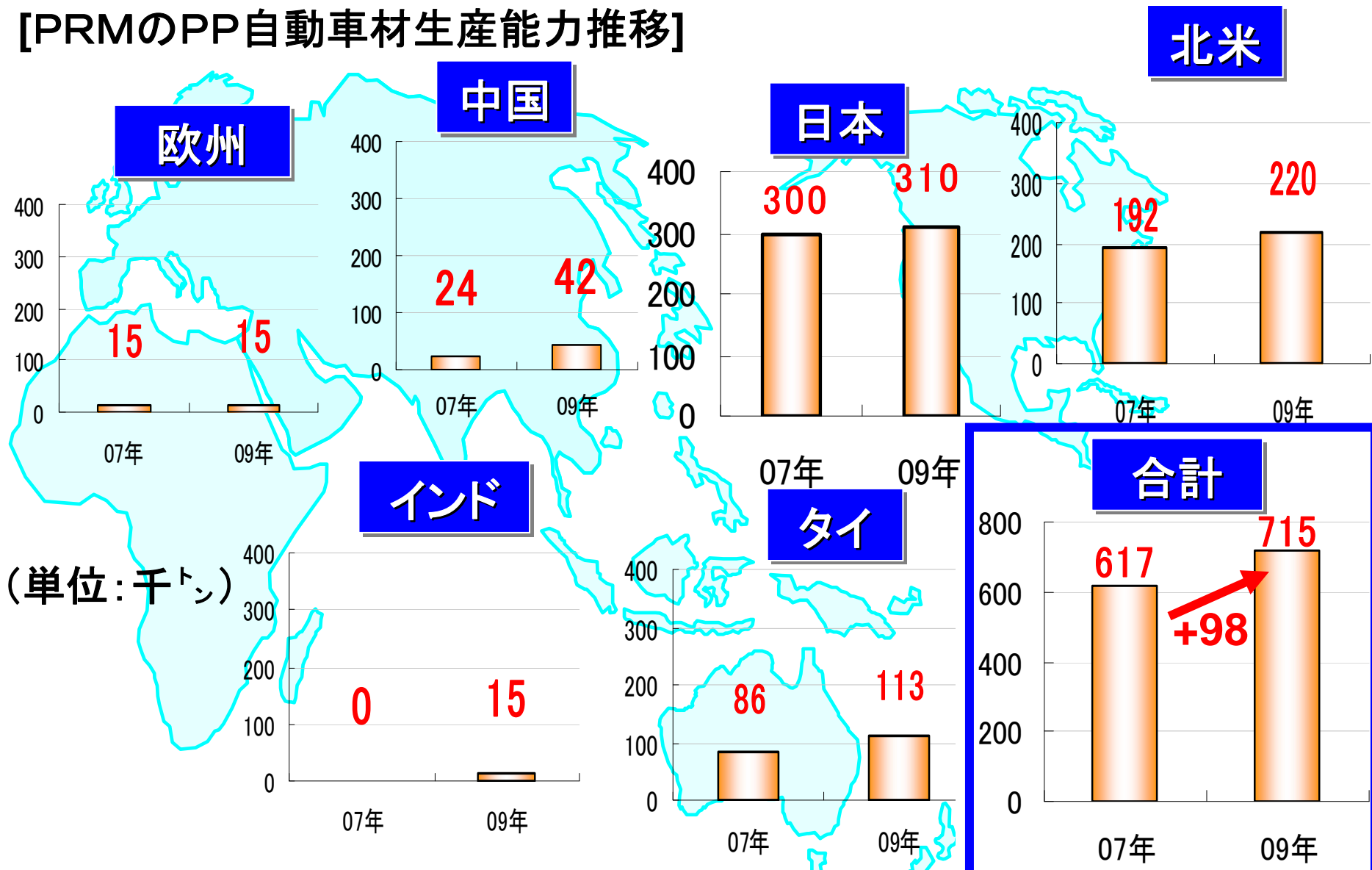


BPAプラント(中国)

### 3. 事業環境・08予想

# PP自動車材グローバル展開強化

[PRMのPP自動車材生産能力推移]



## 株主配当方針の改定

### ＜現状の配当方針＞

株主の皆様への利益還元及び内部留保を総合的に勘案し、安定的な配当の継続及び中長期的な視点で連結業績を考慮した利益還元に努める

株主様への配当の具体的指標・数値目標を明示

### ＜08年度以降の配当方針＞

連結配当性向及び連結自己資本配当率(DOE)を勘案し、中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元及び安定的な配当の継続に努める

**目標＝連結配当性向25%以上かつDOE2%以上**



# 研究開発トピックス

## レーン教授先端材料シンポジウム

The Professor Jean-Marie Lehn Symposium on Advanced Materials at Mitsui Chemicals

〔基調講演〕

〔招待講演〕(講演順)



レーン教授

仏 ルイ・パスツール大学  
1987年ノーベル化学賞受賞



加藤 隆史 教授

(東京大学)



Bert Meijer 教授

(アイントホフエン工科大学、蘭)



八島 栄次 教授

(名古屋大学)



Jean M. J. Fréchet 教授

(カリフォルニア大学バークレー校、米)



榎尾 晴之

(三井化学 触媒科学研究所)

開催： 2008年10月15日

会場： 袖ヶ浦センター シャープレスホール

参加申込： 08年6月開始予定(参加費無料)

### 3. 事業環境・08予想

## 研究開発トピックス

### 三井化学 第4回 触媒科学国際シンポジウム (MICS2009)

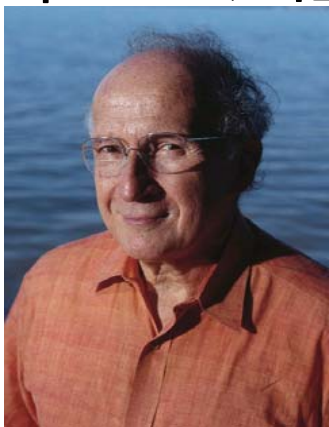
人類の発展に貢献する触媒科学

Catalysis Science and Its Contribution to Future Human Development

〔基調講演〕

R. Hoffmann教授

- ・米、コーネル大学
- ・81年ノーベル化学賞



〔受賞記念講演〕

H. B. Kagan名誉教授

- ・仏、パリ南大学
- ・01年ウルフ賞



〔招待講演〕

- ・B. M. Trost教授 (スタンフォード大学)
- ・K. C. Nicolaou教授 (スクリプス研究所/カリフォルニア大学)
- ・B. Witholt名誉教授 (スイス連邦工科大学)
- ・根岸英一教授 (パデュー大学)
- ・柴崎正勝教授 (東京大学)
- ・岩澤康裕教授 (東京大学)
- ・R.J. Farrauto博士 (BASF)
- ・田脇新一郎博士 (三井化学触媒科学研究)

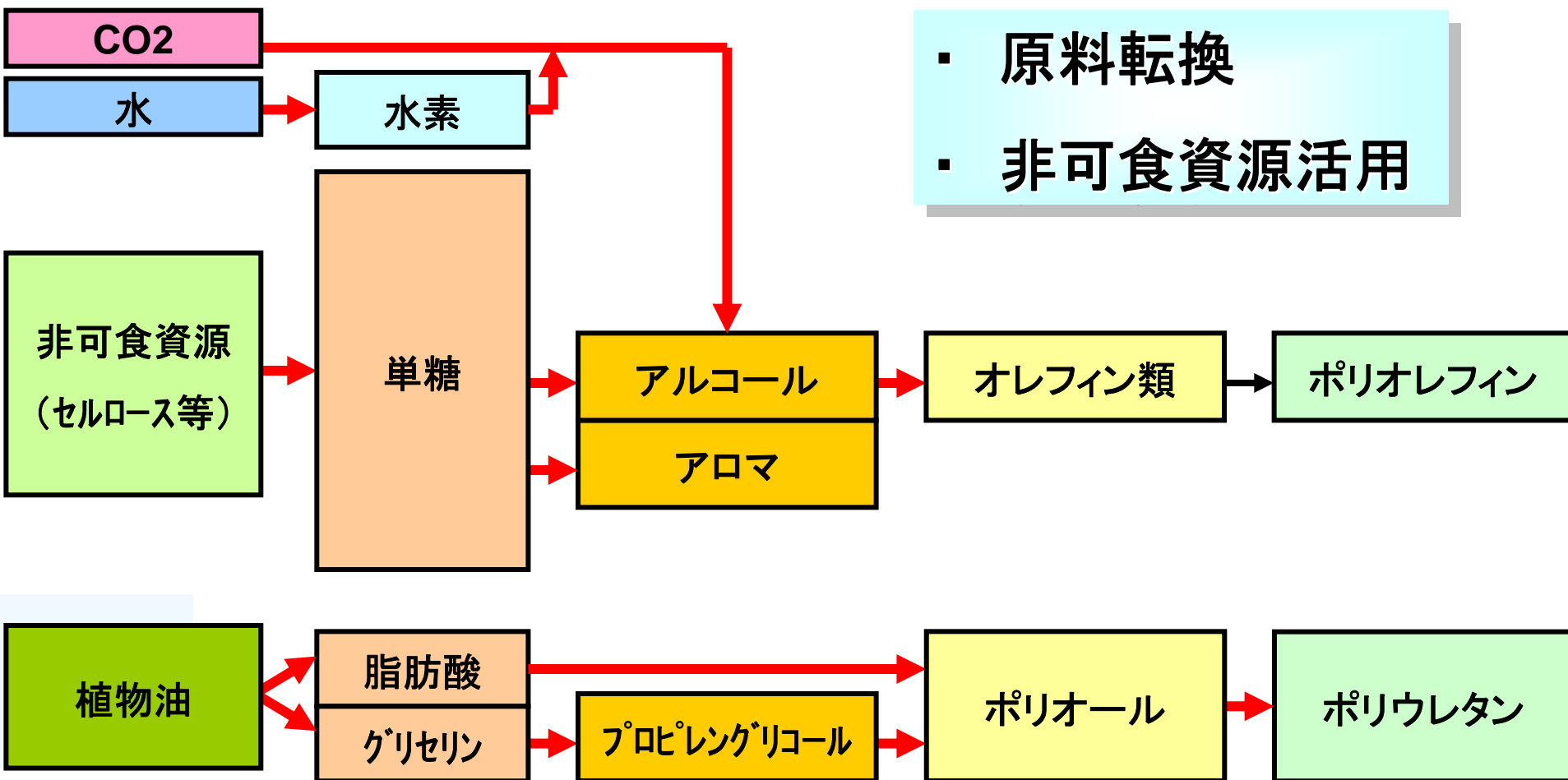
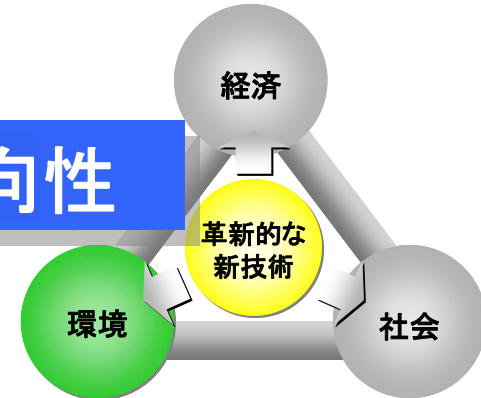
日程: 09年3月11日、12日

会場: かずさアカデミアホール

2009年「三井化学 触媒科学賞」、「三井化学 触媒科学奨励賞」各受賞者

### 3. 事業環境・08予想

## 08中計 非化石原料の活用技術開発の方向性



## シンガポール政府からの受賞

# *Distinguished Partners In Progress Award* の受賞決定！

- DPIP賞とは、  
シンガポールに経済的、社会的に貢献した企業  
に贈られるもののなかで最も栄誉ある賞
- フェノール、エラストマーなどの事業展開やR&D  
センター設立等 40年にわたるパートナーシップが高く  
評価されました
- 08年8月 授賞式開催予定

### 3. 事業環境・08予想

## 当社の環境への取組み

◇ 中国/内モンゴルでの「**沙漠緑化**」活動(06.12～)

**当社独自の技術を使用した植林活動(07.9)**



当社MDIを使った植生基盤



当社独自の易崩壊性ポット

◇ **グリーンアップ**活動(06.9～九十九里浜からスタート)

◇ **CO<sub>2</sub>ダイエット**キャンペーン開始(08.3～)



Mitsui Chemicals

「化学」「革新」「夢」の三井化学  
～絶えず革新を追求し、  
化学のちからで夢をかたちに～

(完)

=07年9月に植林した結果を現在調査中=



易崩壊性ポット

通常のポリエチレンポット

**易崩壊性ポットの崩壊している様子**

=07年9月に植林した結果を現在調査中=



砂の移動により植生基盤が露出しても生きている<sup>41</sup>



=07年9月に植林した結果を現在調査中=



今回、新たに植林を実施